2016 年度点検・評価シート

Ⅰ　評価項目・担当部局

対象部局	現代アジア研究所
評価基準 1	理念・目的
点検・評価項目(1)	1-1　大学・学部・研究科等の理念・目的は、適切に設定されているか。
評価の視点	理念・目的の明確化
	設置の主旨や歴史からみた理念・目的の適切性
	個性化・独自性、国際化への対応
点検・評価項目(2)	1-2　大学・学部・研究科等の理念・目的が、大学構成員（教職員および学生）に周知され、社会に公表されているか。
評価の視点	構成員に対する周知方法と有効性
	社会への公表方法
点検・評価項目(3)	1-3　大学・学部・研究科等の理念・目的の適切性について定期的に検証を行っているか。
評価の視点	責任主体・組織、権限、手続きを明確にしているか。また、その検証プロセスを適切に機能させているか。

Ⅱ【点検・評価項目ごとの現状説明】

1-1	現代アジア研究所は、現代アジアに関する学術研究およびこれに関する諸事業を行い、研究成果を社会へ還元することを目的として設置・運営されている。
1-2	現代アジア研究所ホームページを通じて、教職員、在学生はもとより地域社会にこれまでの活動を発信している。
1-3	全学的な学部附置研究所の見直し（統廃合を含む）や「学部再編」の動向の中で、附置研究所の将来像はきわめて流動的である。こうした過渡的態勢にあるため、定期的検証は行っていない。

【効果が上がっている事項】

1-1	
1-2	
1-3	

【改善すべき事項】

1-1	
1-2	
1-3	附置研究所の理念と目的について再検討する必要がある。

本項目の根拠資料（データ類、裏付けとなる資料）

B1-16　　大東文化大学ホームページ（自己点検・評価活動） http://www.daito.ac.jp/information/examine/inspection/index.html
〔追加資料〕

Ⅲ【達成目標】目標の進捗状況は、「S：完全に達成」　「A：概ね達成」　「B：やや不十分」　「C：不十分」　で、評価する。

達成目標		目標達成の指標となるもの		評価				
				2014	2015	2016	2017	2018
中期目標(2014～2018)	附置研究所の将来像の確定	学部としての方針を決定する。	→			C		
14 年度目標	附置研究所の再検討	運営委員会が附置研究所の将来像をまとめ、教授会に提案する。	→	C				
15 年度目標	附置研究所の再検討	運営委員会が附置研究所の将来像をまとめ、教授会に提案する。			C			
16 年度目標	附置研究所の理念と目的の再検討	運営委員会が附置研究所の理念と目的の再検討結果を、教授会に提案する。				C		